

# 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

## 事業名 文化財保護センター情報保守事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 文化財保護センター 管理調整係

電話番号：058-237-8550

E-mail：c21807@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,018 千円 (前年度予算額：1,492 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,492	0	0	0	0	0	0	0	1,492
要求額	1,018	0	0	0	0	0	0	0	1,018
決定額	1,018	0	0	0	0	0	0	0	1,018

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

当センターでは、発掘調査実施にあたりパソコンで作業を行う際にイラストレーターを使用しているが、CDによる開発元のサポートは現在行われていない。

岐阜県情報セキュリティポリシーにおいて、業務に使用するソフトウェアは開発元のサポートが切れたものを使用してはならないとされていることから、ライセンスを購入・更新して、サポート切れ状態を解消する。

### (2) 事業内容

◎発掘・整理作業で使用するソフトウェアの更新

発掘・整理作業に使用するソフトウェアをライセンス購入・更新する

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担（岐阜県情報セキュリティ関係規定に基づく更新であるため）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
消耗品費	39	ソフトウェア購入代
使用料及び賃借料	979	アドビイラストレーターCC年間使用料
合計	1,018	

**決定額の考え方**

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県情報セキュリティポリシーにおいて、開発元のサポートの切れたソフトウェアを使用してはならない旨、定められている。

(2) 後年度の財政負担

イラストレーターCCは年契約で使用権を獲得するものであり、今後毎年契約を更新していく必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

国や県の開発事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査を行い、記録保存し、その研究、活用をとおして県の文化振興に寄与することを目的とする県の教育機関である。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

- 新規要求事業  
 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 セキュリティ対策のため、発掘整理作業に使用するソフトウェアライセンスを購入・更新し、安全に使用できるようにする。  
 出前授業や出前講座で使用するパソコンを安全に使用したい。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

### ○指標を設定することができない場合の理由

発掘・整理作業に伴うセキュリティに要する経費であり、その性質上、指標を設定することが困難なため。

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組内容と成果を記載してください。                      ソフトウェアの更新、教育普及用のパソコンの更新                      発掘、整理作業に必要な期限切れのソフトウェアのライセンスを更新して、安全に利用することができた。                      教育普及用のパソコンを更新し、安全かつ快適に利用できた。</li> </ul>
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	埋蔵文化財の発掘・整理等作業において必須のソフトウェアの更新であり、必要性は高い。
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	年々増加しているインターネット上の脅威に対して、ソフトウェアを更新することで安全性を確保し、計画的に作業を行うことができた。
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	県のインターネットセキュリティに沿ったソフトウェアを適切に購入して使用することで、発掘・整理事業を効率化できた。

### (今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>イラストレーターCCは年契約で使用権を獲得するものであり、今後毎年契約を更新していく必要があるし、今後マイクロソフトオフィスも同様の状態になると考えられるため、今後も継続して取り組んで行く必要がある。</p>
---

### (次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>情報セキュリティに対する脅威は年々増加しており、パソコンをインターネット環境で安全に使用することを求められているため、今後も継続して取り組んで行く必要がある。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	